平成 27 年 8 月 12 日

第 2 回 愛西市立小中学校適正規模等検討協議会
会議録

第2回愛西市立小中学校適正規模等検討協議会 会議録

開会日時 平成27年8月12日(水) 午前10時00分
閉会日時 平成27年8月12日(水) 午前11時30分
場 所 愛西市役所八開庁舎 第1会議室

- 出席委員
会長	伊藤 勝康
副会長	伊藤 正憲
副会長	千賀 浩司
委員	水谷 朋和
委員	森 智恵美
委員	服部 英生
委員	田中 智治
委員	宇野 明美
委員	中野 義治
委員	水谷 瀧男
委員	伊藤 尚美
委員	三輪 義治
委員	猪飼 常雄
委員	五島 直和
委員	中田 貴士
- 欠席委員
委員	原田 大栄
委員	佐藤 有見子
委員	渡邊 佳子
- 事務局
教育長	加藤 良邦
教育部長	石黒 貞明
教育部次長	神田 直也
学校教育課長	田中 亮長
学校教育課課長補佐	森田 圭一
学校教育課主事	伊藤 公亮
- 傍聴者 2名

■ 次第

1. 開会
2. あいさつ
3. 議題
 - (1) 地域懇談会について
 - (2) 懇談会の進め方（案）について
 - (3) 次回（第3回）協議会開催について
 - (4) その他、意見交換
4. 閉 会

【事務局】	<p>(開会)</p> <p>只今から「第2回愛西市立小中学校適正規模等検討協議会」を始めさせていただきます。</p> <p>本日は傍聴者2人いらっしゃいますので報告させていただきます。また、原田委員、佐藤委員、渡邊委員より欠席の連絡がありましたので報告させていただきます。</p> <p>はじめに会長の伊藤勝康様より挨拶をいただきます。</p>
【会長】	(会長挨拶)
【事務局】	<p>ありがとうございました。次に「3. 議題」に移らせていただきます。ここからの議事進行は、伊藤会長にお願いします。</p>
【会長】	<p>最初に(1)地域懇談会についての協議です。①会場・日時について提案を事務局からお願いします。</p>
【事務局】	(①会場・日時について提案)
【会長】	<p>今、事務局から会場、日時について提案がありました。ご意見等ありましたらお願いします。</p> <p>(異議なしの声)</p>
【会長】	<p>それでは、各庁舎で開催することといたします。</p> <p>次に日時についてはいかがでしょうか。</p>
【委員】	<p>地域懇談会のターゲットが生徒の保護者なのか地域の住民なのかで考え方が変わるとお思いますので、メインのターゲットはどなたになるのでしょうか。</p>
【会長】	他に関連して意見はありますか。
【委員】	参加者は何名を想定しているのでしょうか。
【会長】	<p>やはり、学校の事ですと保護者の方の関心が高いと思われませんが、学校は地域の拠点としての役割もありますので、地域の住民の方にもたくさん参加していただきたいと考えております。また、参加者人数の想定はできるだけ</p>

	<p>たくさんの方に参加していただきたいと考えています。したがって、ターゲットを限定するというよりも関係する方すべてができるだけたくさん参加していただきたいと考えておりますが、いかがでしょうか。</p> <p>【委員】 いろんな世代の人が集まるとよいと考えています。その点では土曜の日中よりは夜の方が良いと考えます。</p> <p>【委員】 例えば佐屋地区での開催は佐屋地区の住民のみが参加できるのでしょうか。参加地域を限定しないのであれば、開催日を多くした方が話を聞く機会が増えるので良いと思います。</p> <p>【会長】 今のご意見の中で、開催場所は各地域ですが、学校適正規模は全市の問題でありますので、関心のある方は自分の地域だけでなく他地域の懇談会にも参加していただければいいと思いますので、参加地域を限定する必要はないと考えます。</p> <p> では、開催の時間帯について、各地区別の日で19時から開催するか、午前と午後で開催するか2案ありますが、意見の中で、土曜日の19時から開催で、できるだけ回数を多くというものがありました。他にご意見はありませんでしょうか。</p> <p> 今の意見を踏まえると、第1案が良いと考えますがいかがでしょうか。</p> <p> それでは意見が無いようですので、第1案にしようと思います。佐屋地区は10月17日、立田地区は10月31日、八開地区は11月14日、佐織地区は11月28日、いずれも土曜日の19時から開催とさせていただきます。</p> <p> 続いて②役割分担について事務局提案がございましたらお願いします。</p> <p>【事務局】 (②役割分担について提案)</p> <p>【会長】 地域懇談会の司会進行、記録については事務局で担当するとのことですが、ご意見ありますでしょうか。</p> <p> ご意見がございませんので、司会進行、記録については事務局にお願いいたします。</p> <p> 続いて③各地区出席委員の割振りについてです。事務局から提案がありましたらお願いします。</p> <p>【事務局】 (③各地区出席委員の割振りについて提案)</p>
--	---

【会長】	<p>今、事務局からそれぞれの役割を提案していただきましたが、4会場すべて回りたいと思われる方は、ぜひ出席してください。</p> <p>続いて④周知方法に移ります。これについても、事務局案があればお願いします。</p>
【事務局】	(④周知方法について提案)
【会長】	これについてのご意見や他に有効な手段などありましたらお願いします。
【委員】	<p>広報ですと見落としがあると思いますので、チラシ等を作って関係の団体や部署等を通じて配布していただくとよいと思います。</p>
【会長】	<p>回覧板なども活用すると良さそうですが、事務局はどのようにお考えでしょうか。</p>
【事務局】	<p>可能であればチラシを作成し、すべての団体は難しいかもしれませんが、できる限りお願いして配布できるようにしていきたいと考えております。</p>
【会長】	<p>それでは、広報・HPに加えまして、可能な限りチラシを配布していただきたいと思います。</p> <p>続いて、(2) 懇談会の進め方(案)についてです。事務局案をお願いします。</p>
【事務局】	(懇談会の進め方について提案)
【会長】	<p>事務局から説明していただきました。</p> <p>懇談会の進め方についてですが、1つは基本方針。次に基本計画策定のスケジュール。このほかに必要な資料があれば次回の協議会にでもご意見をいただきたいと思います。</p> <p>また、懇談会においては地域の方々から賛否両論の様々な意見が出ると思います。これについて委員の皆様が回答をすることで、可能性を狭めることを避けるため、質問に対する回答はしないような方針でいきたいと思っております。もちろん、回答できるデータや状況などの答えられる範囲については回答してかまいません。適正化についての賛否を委員の方が意見を述べるのは控えます。懇談会はあくまでも意見を聞く場として、協議会に反映していくものです。</p>

【委員】	確認ですが、資料などで公表されている数値についてはその場で回答をしていくということでしょうか。
【会長】	その通りです。その他ご意見ありますでしょうか。
【委員】	前回の資料で、アンケートの結果がありました。これはどの地域でどのような意見があったかという参考資料としては役に立つと思いますので、活用したら良いと思います。
【会長】	前回の資料でPTA役員のアンケート結果がありました。私も読んでみて非常に参考になりましたが、これを地域懇談会の資料としてふさわしいかというのは、ここで協議をする必要があると思います。それは、前回の資料はPTA役員の意見しかなく、他にもいろいろな立場の方の意見があるからです。学校職員や地域の方、何より子どもたちの意見が分かる資料があれば出しやすいと思いますが、いかがでしょうか。
【委員】	アンケートについてですが、現在はPTA役員のアンケートしかない状況ですので、懇談会に来る様々な立場の方にアンケートを取るのはいかがでしょう。たくさんの方の前で意見を言うことはハードルが高いと思いますので、アンケートに意見を書いていただくのも有効かと思います。
【会長】	PTAのアンケートを公表することについてはいかがでしょうか。
【委員】	私は、公表しない方が良いと思います。公表することでアンケートの意見や結果に流されてしまう可能性があるからです。
【会長】	他に意見はありますか。 民意をどのように吸い上げていくのかは本当に難しいと思いますが、できるだけたくさんの方の意見を聞くこと、アンケートを活用することは慎重にしたいという意見がありました。他にはいかがでしょうか。
【委員】	当日アンケートを取るのには良いと思いますが、このPTAアンケートはどのように公表されているのか事務局に確認します。
【事務局】	現在のところ、公表はしていません。このアンケートは全体に公表するものとは考えていません。公表した方が良いということになれば公表いたしますが、現在のところ公表は考えておりません。

<p>【会長】</p>	<p>アンケートは扱いが難しいと思いますが、できるだけたくさんの方の意見を吸い上げられるように活用していきたいと思います。</p> <p>懇談会の進め方につきましては、次回の協議会もごございますので、またそこでご意見をいただこうと思います。</p> <p>続いて、次回協議会の開催についてですが、スケジュールですと9月の開催となっております。事務局より提案をいただきます。</p>
<p>【事務局】</p>	<p>(次回(第3回)協議会開催について提案)</p>
<p>【会長】</p>	<p>今の提案ですと、9月28日(月)から10月2日(金)の5日間のうちで参加できる委員が一番多い日で設定したいと思いますので、この場で予定を確認させていただきます。</p> <p>(次回日程の調整)</p> <p>ありがとうございました。それでは、次回協議会は、9月29日(火)の午前10時にします。よろしくお願いします。</p> <p>次に(4)意見交換に移ります。私見でも構いませんので、活発なご発言をお願いします。</p>
<p>【委員】</p>	<p>学校規模の適正化については考えていかなければいけない問題かと思えます。施設の老朽化対策の面から、市として現在の小中学校すべてを維持していくのは予算的に難しいと思います。施設の維持管理の面から考えても適正化は考えるべき問題であると認識しています。</p>
<p>【委員】</p>	<p>適正化の必要性については現段階で判断がつかねます。母校の生徒数は自分の通っていた時に比べて減ってきたかなと思いますが、直ちに適正化を図る事にはつながっていません。また、地域の方の学校への意識について、あまり自分の地域の学校という意識が少ないように感じます。そのため、地域の拠点としての意見を集めるのがむずかしいかと思えます。</p>
<p>【委員】</p>	<p>立田地区は児童生徒の減少が顕著で、ほとんどが単学級になって来ています。そのため将来的には適正規模について考えなければならないと感じています。しかし立田地区は南北に長く、統廃合した際に小学生が通うには遠くなるため、通学方法の検討が必要になり、スクールバスの導入を検討する必要があると思います。また、福原分校を立田南部小に統合することだけを考</p>

<p>【委員】</p>	<p>えるのではなく、立田地区の小学校3校をすべてまとめて考えるという風にしていたきたいという意見もあります。</p> <p>民意の集め方としては、地域懇談会でアンケートをとる方法が良いと思います。</p> <p>永和小学校のように小学校と中学校の生徒が同じで新しい出会いがない場合と、中学校にあがる際に新しい出会いがある場合は保護者としてはどちらが良いのかという問題があります。いじめの問題で、人数が多いとクラス替えもできることもありますし、人数が少ないと先生の目が行き届いて手厚く指導してもらえることもあります。現段階では適正化の必要性については判断ができません。民意の集め方については、PTAアンケートや地域懇談会でのアンケート以外に、子どもたちがどのように考えているのか知りたいと思っています。少人数でみんなが友達という状況が良いのか、大人数でクラス替えなどで新しい友達を作る方がいいのか。実際に子どもたちの意見を聞く機会も必要なのではないかなと思います。</p>
<p>【委員】</p>	<p>立田地区については統廃合があった方がいいと思います。やはり学年で複数クラスあった方が良くと思いますし、財政の面でも統廃合を考えた方がいいと思っています。当然、通学方法の検討も必要で、スクールバスの導入もそうですし、各地域ではなく愛西市として学区の編成も考え直す必要があると思います。地域で学校規模適正化の話題になると、自分の母校がなくなるのではないかという意見も出ますが、それを考えていたらいつまでも前に進まないで、思い切って前に進むのが必要だと思います。</p>
<p>【委員】</p>	<p>八開地区は小学校中学校共に1クラスで進んでいきます。私見では1クラスでずっと過ごすのはどうかなという意見はあります。ただ、低学年の子どもたちは先生との関わりが非常に大きいので、現在のクラス規模だと先生が手厚く指導できる利点がある為、このままでも良いかなと思うところもあります。小規模なので体育は学年合同で球技などをしますし、多学年でパソコン授業をしたり、掃除をしたりしてたくさんの人と出会う工夫をしています。そのため学校全体が友達という意識があり、これはこれで良い面だと思っています。先ほど意見がありましたが、子どもたちは実際にどう思っているのか聞いてみる必要があると思います。</p>
<p>【委員】</p>	<p>学校には地域性があると思いますので、この地域性を大事にして子どもがのびのびと心豊かに育っていくのが適正化より大切なのではないかなと思います。八開地区の小中学校は保護者の連携もとれて地域として良い状況なの</p>

<p>【委員】</p>	<p>で、子どもの通う学校も雰囲気が良い状態なのだと思います。この状況が適正化により大規模校になるとなくなってしまうのではないかと心配しています。民意の集め方については、総代に協力していただいて、できるだけ地域懇談会に参加してもらおうよう働きかけると良いと思います。</p> <p>福原分校には立派なテーマがあり「小さな学校の大きな人づくり」です。これに向けて限られた職員で一丸となり、うまく実践されていると福原分校に行くたびに思います。つまり、小さい学校にしかできない教育もあるし、大きな学校にしかできない教育もあるということです。以前勤めていた学校には千人を超える生徒がおり、地域からは大規模な学校は教育サービスが十分に施されないのではないかと意見があり、分離をしました。その際に住民の方を集めて意見を聞く機会があり、一番感じたことは、小学校が地域コミュニティの中心になっているということです。1つの学校を2つにする難しさを感じました。今回はどちらかという統合していく方ですが、これも同じだと思います。2つの地域コミュニティを1つにするに関しては地域から色々な意見があると思います。統合されることによって誰もが良かったと思えるように、夢を持って2つが1つになるように進めていかなければいけないと思います。2つの学校が1つになる良さは小中一貫であるとか、誰が見ても夢のある統合でなければいけないと思います。ただの数合わせの統合はいけないと思います。そのために、この協議会で知恵を絞って、夢のあるみんなが喜んで希望を持って統合を迎えることができる形を作っていければよいと思っています。</p>
<p>【委員】</p>	<p>自分の時代に比べて生徒の人数は少なくなっていると感じていますが、実際に統廃合を進める必要があるとは思っていませんでした。しかし、統廃合するのであれば、通学時間の問題があると思いますので、スクールバスの導入を考えてはどうかと思います。</p>
<p>【委員】</p>	<p>学校の統廃合については保護者の中には、どうなっていくのか心配に思っているという意見を聞きます。実際に保護者に意見を聞いたところ、統廃合によってどの学校に通うことになるのかが分からないのが不安であるという意見がありました。小規模校の保護者は連携がとれていて安心で雰囲気が良いのでこのままで行って欲しいという意見も聞きました。保護者の気持ちの中には少人数の学校でも、このまま継続してほしいという気持ち強いのではないかと感じています。子どもが少なくなっていくと出てくる問題をどのように保護者の方へ伝えて、理解していただくかが大切だと思います。たくさんの方に適正化の問題を考えていただくために、文書などを作って保護</p>

<p>【委員】</p>	<p>者に配ると良いと思います。</p> <p>適正化については、市として将来どのようにしていくのかを考えることと、子どもや保護者の不安を取り除くための考えを示すことが大切である。</p> <p>クラスの子どもの人数が10人を割るところもある中で、各学校が色々方策を考えて運営していただいているところですが、限界があるのかなと思いますので、やはり集団生活を考えるのであれば、統廃合は必要な方法のひとつではないかと思います。結果として施設数が減れば管理財政も軽減されることになると思います。</p>
<p>【委員】</p>	<p>永和中学校について、小学校の時に女子バスケットをやっている子が中学校に上がると女子バスケットの部活がありません。また、サッカーも男子テニスもありません。永和中学校の生徒数を増やして、部活を充実させるため、市江小学校を永和中学区に組み込む考えもありますが、市江小に通う方は佐屋中の方が近いという意見もあります。永和の運動会は小中合同でやっているの、保護者にとっては小学校と中学校別々に行かなくても良いメリットはありますが、小1から中3までいるので、たくさんの競技に参加できないデメリットもあります。</p> <p>永和中学校の生徒が高校に進学するとやめてしまう生徒が多いと聞いたことがあります。それは、永和中学校に入るのは永和小学校だけなので、小学校から中学校までずっと同じ仲間できていたものが、高校になっていきなり周りの人間が変わるので、新しい仲間を作るコミュニケーションの取り方が分からないからです。できたら、もっと大きい規模の小中一貫が出来ればよいかなと思います。</p> <p>民意の集め方については、地域の意見を持った方の意見を吸い上げることができるよう、懇談会でアンケートを取ることが大切だと思います。ただ、漠然と意見を聞くのではなく、このことについてはどう思うかなど、意見を書きやすいアンケートを作るのがいいかなと思います。</p>
<p>【委員】</p>	<p>全国では少子化の進行で、毎年小学校が200ずつ減っている状況だそうです。愛知県では旧鳳来町の4つの小学校が1つに統合されるようです。また、田原市では野田中学校が田原中学校に統合されるようです。今、少子化で学校をどのように運営していくのが課題になっているところですので、適正化のことについて考える必要があると思います。適正化を進めるうえで、ただ単に、数が少ないから統合を進めるのではなく、こんな学校でこんな教育をしていきたいという夢を持つ思いで進めていく必要があると思います。</p> <p>民意の集め方については、適正規模の基本方針をもとに地域懇談会で話し</p>

	<p>合いが行われ、学校をどのようにしていくかの意見交換が出来ればよいと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>皆さんから意見を聞きましたが、今後、各所属で会議など集まりがありましたら、適正化についての話題を出していただいて、その意見をこの場で反映させていただければと思います。</p> <p>日本全国の動向ですと、学校の統廃合が進んでいる状況で、文科省が 27 年 1 月に「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を出しております。この中で、学校は地域の中にある大きな拠点としての意味があるから、慎重に考える必要があるということが大前提にしつつ、どちらかというと統廃合を加速させる内容が書かれています。例えば、学級規模の標準である 12～18 を下回る場合、1 学年 1 学級になっている場合、複式学級がある場合などは、統廃合を考えましょうというものです。背景として教育上の課題 39 項目挙げられています。お時間のある時にインターネット等で調べていただくと良いのですが、その中で、学級の数が少ないとこんな問題がある、複式学級だとこんな問題がある、先生方が少ないとこういう問題がある、学校運営上子どもにはこんな影響があるなど提示しております。それに対して小規模校のメリットについては記述があまりありませんが、皆さんの意見を伺うと、小規模少数だからこそできることがあるというのも個人的には理解できます。夢を語る将来を考えるうえで、小さい方がよいという夢もあり、大きい方がよいという夢もあり、非常に大きな問題であります。</p> <p>これから答申をつくっていきますが、できるだけ多くの資料・事例・意見等を吸収して良いものをつくっていきたいと思っていますので、よろしくお願いたします。</p> <p>それでは、これにて終了したいと思います。ありがとうございました。</p>
<p>【事務局】</p>	<p>これを持ちまして「第 2 回愛西市立小中学校適正規模等検討協議会」を終了いたします。長時間お疲れ様でした。</p>